



メルセデス・ベンツのプレミアムミドルサイズ SUV

AMG

Press Information

2024年3月29日

メルセデス AMG GLC 43 4MATIC クーペ (BSG*1 搭載モデル) を発売

- ・ F1®由来の電気リック・エグゾーストガス・ターボチャージャーを採用し、自然吸気エンジンのようなレスポンスを実現
- ・ メルセデスAMG社でマイスターにより組み上げられた直列4気筒エンジンに電気モーターと48V電気システムを追加
- ・ リア・アクスルステアリングを標準装備
- ・ トランスペアレントボンネットを標準装備

メルセデス・ベンツ日本株式会社(社長: 上野金太郎、本社: 千葉県千葉市)は、メルセデス・ベンツのプレミアムミドルサイズ SUV「GLC」のスポーツモデルとして「メルセデス AMG GLC 43 4MATIC クーペ (BSG*1 搭載モデル)」(以下、GLC 43 クーペ)を追加し、本日より全国のメルセデス・ベンツ正規販売店ネットワークを通じて発売します。

*1: BSGは Belt-driven Starter Generator の略称です。

GLCクーペは、クーペとしてのスタイリッシュなフォルムとSUVらしい存在感を両立させたSUVクーペです。メルセデス・ベンツのベストセラーモデル「Cクラス」と同等の安全・快適装備を備えるとともに、プレミアムミドルサイズSUV「GLC」と同等の走行性能、利便性を実現しました。新型GLCクーペは、伸びやかで美しいシルエットの中にスポーティで力強さを備えたエクステリアと、リアルウッドインテリアトリムやカーボン素材のインテリアトリムを採用した質感の高いインテリアを併せ持ちます。また、ダイナミックなドライビング特性、サポートの精度を高めた安全運転支援システム、縦型の大型メディアディスプレイを搭載しています。このメディアディスプレイには、MBUX全体の中から、走行に合わせて変化するコンテンツをユーザーのために取り出し、関連するサービスとともにMBUX情報アーキテクチャーに表示するゼロレイヤーデザインが採用されており、直感的な操作設定が可能です。

また、直感的な行先案内が可能なARナビゲーション、片側100万画素以上を誇るDIGITALライトによる効果的な夜間の視界確保や、良好な取り回しや優れたハンドリングを実現するリア・アクスルステアリングなど、フラッグシップモデルであるSクラス譲りの最新技術を多数採用しています。中でもメディアディスプレイにクルマのフロント部分下方の路面の映像を映し出す「トランスペアレントボンネット」や、車両の傾き、路面の勾配等をディスプレイに表示する「オフロードスクリーン」を標準装備することでオフロード性能の向上も図りました。



メルセデス AMG GLC 43 4MATIC クーペの特長

パワートレイン:F1®由来の新技術を採用した直列 4 気筒エンジン「M139」

GLC 43 クーペは、「One man, One engine」の主義に従い熟練のマイスターが手作業で丹念に組み上げる直列 4 気筒エンジン「M139」を搭載しています。GLC 43 クーペは最高出力 421PS(310kW)、最大トルク 500N・m を発生します。この M139 にはエレクトリック・エグゾーストガス・ターボチャージャーを採用しています。このターボチャージャーは F1®由来の技術で、メルセデス AMG ペトロナス F1 チームがモータースポーツの最高峰である F1®において長年採用して実績を上げているシステムを直接のベースとするものです。

エレクトリック・エグゾーストガス・ターボチャージャーの電気モーターは厚さ約4cmで排気側のタービンホイールと吸気側のコンプレッサーホイールの間のターボチャージャーの軸に直接一体化されています。このモーターが電子制御でターボチャージャーの軸を直接駆動し、コンプレッサーホイールを加速します。この加速は、コンプレッサーホイールが通常のターボチャージャーと同じく、排気の流れによって駆動されるようになるまで行われます。

これにより、アイドリングスピードから全エンジン回転域にわたって、レスポンスの速さが大きく改善されます。アクセル操作に対するエンジンのレスポンスがいわゆる自然なものとなるほか、ダイナミックな走りが楽しめるようになります。これに加え、ターボチャージャーの電動化は低回転域のトルクを高める効果をもたらし、アジリティや発進加速性能の向上につながります。アクセルから足を離したり、ブレーキを踏んだりした場合でも、エレクトリック・エグゾーストガス・ターボチャージャーは常にブースト圧を維持することができるため、速やかなレスポンスが途切れることなく得られます。

このターボチャージャーは車載の48V電気システムを電源とし、最大175,000rpmまで動作することで、きわめて高い空気流量を可能とします。ターボチャージャーと電気モーター、それに電子制御ユニットは、エンジンの冷却システムに接続されており、常に最適な温度管理を行います。

また、BSGは第2世代のもので、48V電気システムの中ではマイルドハイブリッドとしても機能し、短時間ですが出力を14PS(10kW)高めるブースト機能のほか、セーリングモードや回生ブレーキにより効率を最大限に高めます。同時に48Vテクノロジーは、ECOスタートストップ機能やセーリングモードの間の切り替えがほぼ感じられないほど滑らかに行われることから、快適性の改善にも役立ちます。

トランスミッション:AMG スピードシフト MCT

GLC 43 クーペのトランスミッションには、「AMG スピードシフト MCT」(9速オートマチックトランスミッション)を採用しました。トルクコンバーターの代わりに湿式多板クラッチを搭載し、ダイレクト感のある素早いシフトチェンジと高い伝達効率を実現しています。

パフォーマンス志向のフルタイム四輪駆動システム「AMG 4MATIC」

パフォーマンス志向のフルタイム四輪駆動システム「AMG 4MATIC」は、前後トルク配分が31:69とAMG独自の後輪重視型です。この後輪重視の配分により、横方向加速度を高めるなどダイナミックなハンドリングを強化するとともに、加速時のトラクションも改善しています。

リア・アクスルステアリング

GLC 43クーペには、後輪操舵システム「リア・アクスルステアリング」を標準装備しました。約100km/h以下では、リアホイールをフロントホイールとは逆方向に最大約2.5度傾けます。これにより日常の走行シーンや、駐車する際には回転半径が小さくなるため、クルマが扱いやすくなります。約100km/hを超えると、リアホイールをフロントホイールと同じ方向に最大約0.7度操舵することで、走行安定性を大きく高めます。従来のメルセデスの美德である小回り性能を犠牲にしないだけでなく、中高速域での安定性や、優れたハンドリングも並立させています。

AMG 強化ブレーキシステム

フロントに 4 ピストンの固定キャリパーにドリルドベンチレーテッドディスク、リアに 1 ピストンのフローティングキャリパーにベンチレーテッドディスクを採用し、強大な制動力と耐フェード性、ペダル操作に対する優れた応答性を発揮します。

AMG パフォーマンスステアリングホイール

走行中に手を放すことなく各種メニュー操作が可能なAMGドライブコントロールスイッチを備えたAMGパフォーマンスステアリングを標準装備しました。

メルセデスAMG GLC 43 4MATICクーペのその他の特長

トランスペアレントボンネット

Offroad モードでは、360°カメラシステムを使い「トランスペアレントボンネット」機能が使用できます。メディアディスプレイにクルマのフロント部分下方の路面の映像（フロントタイヤとその操舵方向を含む）を仮想的に映し出す機能で、進路上にある大きな石や深い窪みなどの障害をいち早く確認することができます。

オフロードスクリーン

オフロードスクリーンは、コックピットディスプレイおよびメディアディスプレイに情報や操作スイッチ類、さまざまな機能を分かりやすく配置する機能です。これにより、オフロード走行に関連するすべての運転機能を 1 つの画面で簡単に操作することができます。

ARナビゲーション

AR (Augmented Reality = 拡張現実)ナビゲーションを標準装備しています。従来、目的地を設定して行先案内をする場合、地図上に進むべき道路がハイライトされますが、それに加えて、車両の前面に広がる現実の景色がナビゲーション画面の一部に映し出され、その進むべき道路に矢印が表示されます。これにより、直感的にどの道路に進むべきかを判断することができます*2。

*2: オン/オフの切り替えが可能です。オフの場合、従来どおり、地図上の道路をハイライトする画面が表示可能です。

テレマティクスサービス「Mercedes me connect」*3

自動車通信によりお客様の利便性を向上する先進的なテレマティクスサービス「Mercedes me connect」は、「安心・安全」と「快適」の側面からお客様のカーライフをサポートします。

「3年間無料、以降7年間自動で継続されるサービス」

- 24時間緊急通報サービス*4:事故検知時(エアバッグ、シートベルトテンショナー展開時)または車内にあるSOSボタン押下時に、コールセンターが消防に連絡します。
- 24時間故障通報サービス:ツーリングサポートが必要な際に、meボタンを押すとツーリングサポートセンターにつながります。
- リモート(車両)ステータス確認:車両の走行距離等を確認できます。
- Send2Car: スマートフォンから、ナビゲーションの目的地を遠隔設定できます。

「3年間無料のサービス」(有料で継続可)

- リモートウインドウ & サンルーフコントロール:スマートフォンの操作でウインドウやスライディングルーフの開閉ができます。
- リモートドアロック&アンロック:スマートフォンの操作で車両ドアのロック、アンロックができます。
- 駐車位置検索:駐車した車両の位置をアプリの地図上に表示します。
- オフストリートパーキング(オンライン駐車場情報):駐車場の場所だけではなく空車情報*5もオンラインでナビゲーション地図上に表示します。

*3: サービスをご利用いただくには、Mercedes me IDとMercedes me connectサービスの利用規約への同意が必要です。また、車両と対応するユーザーアカウントとのペアリング、および情報通信サービスへの申込が必要となります。

*4: 別途ボッシュサービスソリューションズとの契約が必要です。

*5: 全ての駐車場について表示するものではなく、情報提供されている駐車場に限ります。

エクステリアデザイン

GLC 43クーペのフロントデザインは、ハイグロスクロームの縦ルーバーを備えたAMG専用フロントグリルを採用しました。メルセデスAMGであることを明確に主張し、アグレッシブな表情を形成しています。また、GLC 43クーペ専用デザインのフロントエプロンは左右に大型のフリックを装備しています。フリックをハイグロスブラックで引き締めることで、迫力あるフロントマスクに仕立てています。

パワードームを備えるスポーティなボンネットは、GLC 43クーペの前へ前へと進もうとする衝動を強調しています。また、ラインやエッジを大幅に削減し、曲線を描く彫刻的な面により、特殊な陰影を生み出しています。これによりプロポーションが強調されるとともに、逞しいホイールアーチにアクセントが与えられています。ホイールアーチは先代モデルのブラックからボディ同色になり都会的なエクステリアを演出しています。

サイドは、フロントフェンダーに「TURBO ELECTRIFIED」サイドエンブレムが入り、電動化されたターボチャージャーを搭載した先進のパートレインを備えていることを強調しています。

リアデザインは、力強く張り出したフェンダーと水平基調のリアバンパー、ツーピース構造で内部に立体感があるスリムなリアコンビネーションランプにより、リアエンドをよりワイドでシャープに見せるデザインとなりました。リアバンパーにもディフューザー風のリアエプロンを採用するとともに、左右2本ずつのエグゾーストパイプがスポーティなリアエンドを形成しています。

さらに、ブラックのドアミラーカバーやフロント/リアバンパーにブラックアクセントを加えるAMGナイトパッケージを標準装備することで、引き締まったエクステリアに仕上がっています。

インテリアデザイン

ドライバーを重視することでスポーツ感を強調すべく、縦型の11.9インチのメディアディスプレイを6度、ドライバー側に傾けたデザインが採用されています。運転席に備わる12.3インチの大型コックピットディスプレイは自立型でダッシュボード上部と大きなインテリアトリムの手前に浮かんでいるように見えます。コックピットディスプレイとメディアディスプレイは5つのスタイル(ジェントル、スポーティ、クラシック、Supersport、Offroad)と3つのモード(ナビゲーション、アシスト、サービス)の中から選択することでカスタマイズすることが可能です。また、運転中に視線を動かすことなく速度などを見ることができるヘッドアップディスプレイを標準装備しています。

ダッシュボードは上下2つの部分に分かれています。上部は翼のような形状に、航空機エンジンのナセルを想わせる丸みをつけたやや横長の新デザインの角型エアアウトレットが配置されており、スポーティさを演出します。下部には大きなインテリアトリムが広がり、標準仕様でもオプション選択時でもリアルウッドインテリアトリムを採用し、質感の高い室内空間を演出しています。

アンスラサイトライムウッドインテリアトリム(標準仕様)

ブラックに近いダークグレーに着色され、垂直方向に木目が現れるマット仕上げのライムウッドインテリアトリム。シックで落ち着いた印象を与えます。



ブラックオープンポアウッドインテリアトリム(AMGレザークラスパッケージ仕様)

ブラックのウッドにオープンポア(マット)仕上げを施し、アクセントとして垂直方向にアルミニウムのラインを取り入れたウッドインテリアトリム。ラグジュアリーでありながら、クールな雰囲気も併せ持つ室内空間を演出します。



ダッシュボードの両端を囲むドアパネルはシンプルでモダンなデザインが目を惹きます。ドアのセンターパネルはアームレストを一体化しており、垂直面から水平方向に張り出しています。アームレストの前部はセンターコンソールのデザインを反復するように、クロームをあしらっています。ここはGrabハンドルとなるほか、ドアを閉めるときのグリップともなる部分で、パワーウィンドウのスイッチが配置されています。

シートは、サポート性に優れサーキットでのスポーツ走行時でも安定したドライビングポジションを維持できる一方で、長時間のドライビングでも疲れにくい快適性も兼ね備えたレザーARTICO/MICROCUTスポーツシートを標準装備しています。AMGレザーエクステリアパッケージを選択すると、上質なナッパレザーを採用したスポーツシートが装着されます。

シートの調整スイッチやドアハンドルが配置されたフロントドアのブラックパネルは、エッジがクローム仕上げとなり、ドア表面から浮き上がるようなデザインとなっており、アンビエントライトの照明による上質感を演出します。

ラインアップ

メーカー希望小売価格(消費税込み)は以下の通りです。(MP:202401)

モデル	ステアリング	エンジン	メーカー希望小売価格 ^{*6} ()内は消費税抜き車両本体価格
GLC 220d 4MATIC クーペ (ISG 搭載モデル) ^{*7}	右	2.0L 直列 4 気筒 直噴ディーゼル ターボ	¥8,980,000 (¥8,163,637)
メルセデス AMG GLC 43 4MATIC クーペ (BSG 搭載モデル)^{*8}		2.0L 直列 4 気筒 直噴ターボ	¥12,170,000 (¥11,063,637)
メルセデス AMG GLC 63 S E PERFORMANCE クーペ		2.0L 直列 4 気筒 直噴ターボ +プラグイン ハイブリッド	¥18,110,000 (¥16,463,637)

*6: 上記のメーカー希望小売価格は、付属品価格、税金(消費税を除く)、保険料、登録に伴う諸費用を含まない車両本体価格です。また、「自動車リサイクル法」に基づく、リサイクル料金が別途必要となります。メーカー希望小売価格は参考価格です。価格は販売店が独自に定めておりますので、詳しくは各販売店にお問い合わせ下さい。

*7: ISG は Integrated Starter Generator の略称です。

*8: BSG は Belt-driven Starter Generator の略称です。

なお、GLC 43 クーペには、新車購入から3年間、一般保証修理/定期メンテナンス(点検整備の作業工賃・交換部品)/24時間ツーリングサポート/地図データ更新^{*9}が無償で提供される走行距離無制限の保証プログラム「メルセデス・ケア」が適用されます。

メルセデス・ケア終了後も引き続き2年間、一般保証、定期メンテナンスや24時間ツーリングサポートをご利用いただける有償のサービスプログラム「メンテナンス&保証プラス^{*10}」をご用意しています。

*9: 地図データの更新には Mercedes me connect サービスのアクティベーションが必要となります。

*10: メンテナンスサービスは総走行距離 75,000km までで終了となります。

※本プレスリリースに記載されている仕様およびメーカー希望小売価格は、発行日現在の内容です。